

ふれあい新聞

(第39号) 平成8年7月1日 一田中野田町内会一

平成8年度総会終わる

本年度の総会は4月21日に開催され、審議事項は原案どおり承認・可決されました。原案については先に各戸に配布した総会資料を参照してください。なお、本年度は偶数年ですので、町内会役員はほぼ一新し、とくに本年度から副会長は3名体制となりました。町内会及び他の各種団体の役員・担当係等は、本紙前号(第38号)に掲載したので、ここには再録しません。

町内のクリーン作戦と御南小児童の参加

町内では年中行事として、春(5月)と秋(9月)の2回、公園の清掃を行っており、既に春の部は予定どおり5月26日(日)に実施しました(写真1)。当日は好天に恵まれ、町民多数の方々の参加により、公園がきれいになりました。

これとは別に、6月1日(土)御南小学校全校児童により、学区内の公園や遊園地とその周辺道路の清掃が行われました(写真2)。当日、引率の先生に伺ったところ、各学期に1回(年3回)各地区児童の登校集合場所に最も近い公園や遊園地などを対象に、土曜日の下校時(9:30~11:30)全校で一斉に行っているとのことでした。きれいな住みよい町づくりは、このように皆んなで推進したいものです。



写真 1

[特集]

「花いっぱい運動」を上げよう!

岡山市では、町の美化を図るため、市民の花と緑の倍増作戦を展開しており、そのひとつとして「花いっぱい運動」を行っております。これに呼応して、田中野田町内会でも少しずつですが、この運動をすすめています。

町内の3つの公園の空地に、5月26日の公園清掃時に、あるいはその前後、町内有志の方から寄贈されたマリーゴールドやコスモス、サルビアなどを植えました。また、市から若干の花の種子やプランターを貰い、苗を作っています。夏から秋にかけて、きれいな花が見られることでしょう。皆んなで可愛いがってやってください。このような運動は今だけでなく、これからも永く続けたいものです。皆様のご理解とご協力をお願いします。

ところで、町内を歩いてみますと、花や庭木を育て楽しんでおられる方が随分と多いことに気が付きます。写真3と4は6月上旬町内で撮ったもので、玄関への通路や道路添い玄関の両脇に飾られた、鉢植え、プランター植えの、きれいに咲いた数々の花です(カラー印刷でないのが残念)。「花いっぱい家庭から」を合い言葉に、この運動をすすめましょう。

今は花の季節でもあり、本号では特集として「花いっぱい運動」に関連し、花育てについてご経験やご意見など随意な題で、町内外有志の方に寄稿していただきました。次の3編がそれです。

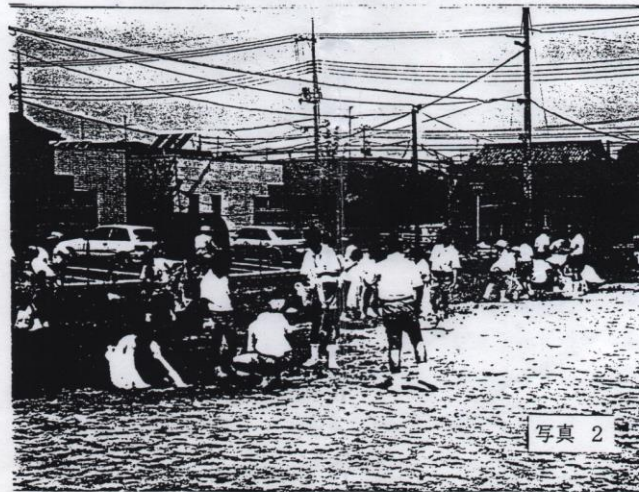


写真 2

花のある人生(花に魅せられて)

S 生

今年は、いつになく植物は全体に成長が遅く、十分育たないものも見受けられる。

我が家の庭に、いま初夏の花が色とりどりに咲いている。サツキやバラの花がいまだに花を開かせている。例年だと、とくに散り終えている時期のはずである。しかし、その分開花の期間も長く、観賞するうえでは楽しみも倍加している。

花は人の心を和らげ、安らぎを与える。花を見て怒る人はいないし気分を損ねる人もいない。車を運転していても、歩道の一端に植えられている花を見ると心が和むし、人家の庭先に咲いている花につい目が奪われてしまう。

我が家の庭にもいろんな花を植え、その季節折々で咲く花を楽しんでいる。花を育てることは、どことなく子育てと似ている。愛情をかけて育てた花は、それに応えて立派な花を咲かせる。愛情をかけすぎると(肥料や水のやりすぎ)かえって貧弱な花になったり、ときには枯れてしまう。

花は種類によって手入れも違う。鉢植えと直植え、多年草と一年草、球根と種子もの、大きく成長するものとそうでないもの、それぞれ成長過程で個性にあった手入れをしてやらねばならない。この時期は除草・防虫にも気を抜けない。

苦労も多いが、楽しみもまた多い。つぼみがつき、だんだんと膨らみ、花の形を整えだすと胸の鼓動も高まってくる。今年はどのような花を咲かせてくれるのか、色は、形は、大きさは、まだ見ぬ異郷の地を訪れる心境であり、花づくり一番の楽しみと喜びのときでもある。

この地に住み慣れて早や8年、もともと社宅住まいであった関係で数鉢のゼラニウムでスタートした。通りすがりの人々から、きれいな花、見事な花との褒め言葉にものせられて、珍しい花を買い求めては増やしてきた。

いまでは何種類の花があるのか定かでない。植える場所もなくなり、通り道にも困るほど花壇が占拠してきている。

多くの人に楽しんでもらえ、人生の楽しみの一つにもなっている花づくりを、いつまでも愛しつづけ人生を共にしていければと思っている。